



中之島小学校

(中之島小中一貫校)

所在地	〒530-0005 北区中之島6-1-53
電話番号	06-6441-0360
校長名	楠井 誠二
URL	https://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j512007



教育目標

【学校教育目標】

相互理解・協働・共創を通して持続可能な社会を担うグローバル・シティズンシップを育む

【めざす学習者像】

互いのちがいを尊重し、
対等な立場で積極的に関わる。 (相互理解)
個々の力を発揮しながら、課題
解決に向けて協力して取り組む。 (協働)
多様な人々との対話を通して、
新しい価値を生み出す。 (共創)
発達段階に応じた
アイデンティティを形成する。 (自己理解)



【学校経営方針】

本校は、多様な人々が協働する社会において、児童生徒が自分らしい生き方を選択できる力を育む学習活動の充実をめざしています。

未来を生きる子どもたちにとって、地球的な視野と思考をもとに多様な背景をもつ人々と互いに尊重し、協力して課題解決にあたる力は重要な資質・能力となると考えます。本校においては、そうした資質・能力をグローバル・シティズンシップととらえ、その資質・能力を育む学習活動を計画的・系統的に実践していきます。

そのために、ESD (Education for Sustainable Development: 持続可能な開発のための教育) の視点に立った学習指導の目標をふまえた教育活動を実践していきます。また、変化の激しい時代を生き抜くためには、児童生徒が自分自身の生き方について考え、自ら選択選択できる力を育み、将来的な社会的・職業的自立を促す教育活動が必須であることから、教育課程の策定にあたっては、キャリア教育の視点を取り入れています。

沿革

令和6年 4月 開校

学校運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査および年度末校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童生徒の割合を、小学校、中学校ともに75%以上にする。
- 小学校学力経年調査および年度末校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を80%以上にする。
- 令和6年度末の校内児童生徒アンケート「他学年との活動で、自分は役に立ってうれしかった経験がある」の項目において、肯定的に回答する児童生徒の割合を70%以上にする。
- 令和6年度末の校内児童生徒アンケート「将来の夢や目標を持っている」の項目において、肯定的に回答する児童生徒の割合を小学校75%以上、中学校65%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査および年度末校内調査における「学級の友達(児童生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童生徒の割合を小学校、中学校ともに30%以上にする。
- 小学校学力経年調査および年度末校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童生徒の割合を小学校60%、中学校50%以上にする。
- ④小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
- ④小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
- 令和6年度末の校内児童生徒アンケート「楽しく英語を学習し、進んで英語を話すことができています」の項目において、肯定的に回答する児童生徒の割合を小学校、中学校ともに70%以上にする。
- 令和6年度末の校内児童生徒アンケート「身の回りのできごと以外(ニュースや世界で起こっていることなど)に関心がある」の項目において、肯定的に回答する児童生徒の割合を小学校、中学校ともに60%以上にする。



【学びを支える教育環境の充実】

- 令和6年度末の校内児童生徒アンケート「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目において、「ほぼ毎日」と回答する児童生徒の割合を90%以上にする。
- 令和6年度末に教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の割合が、大阪市の平均を上回るようにする。
- 授業日において、児童生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く]
- 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を60%以上にする。
- 令和6年度末の校内児童生徒アンケート「読書は好きですか」の項目において、肯定的に回答する児童生徒の割合を60%以上にする。

【※詳細は学校ホームページをご覧ください】

標準服



- ブレザー、長ズボン・半ズボン・スカートのいずれか
- 白ポロシャツ(汎用品可)
- ぼうし(指定なし)
- ※夏服と冬服の着分けは、気候や体調により各自で調整します。

学校の特徴

【学校施設の紹介】

本校は北区中之島西部地域の堂島川と土佐堀川の間に位置しています。学校の周辺には国際的な文化・芸術施設、近代建築施設や史跡などが点在しており、本校の外観はそうした周辺の雰囲気と溶け込んでいます。しかしながら、敷地面積が限られているため、校舎をコンパクトに建設し、屋外グラウンドの面積を極力広く確保するとともに、屋内に、体育館に加え、屋内グラウンド・屋上グラウンドなど多彩な運動スペースを設置しています。これらの多彩な運動スペースで、子どもたちは、伸び伸びと運動しています。

また、図書室とパソコン教室を一体的に運用できる「メディア・キューブ」を校舎東側、2階から5階に整備しています。パソコン教室には高性能パソコンや独自の通信回線を整備し、探究的な学習、プログラミング学習や動画制作など高いコンピュータ処理性能を必要とする学習に取り組むことができます。

さらに、7階建ての校舎の2階から5階までを突き抜ける大階段とともに、その横には交流を促進するためのコミュニケーションデッキを設けています。各階の共有部分には、様々なワークスペースを確保することで、多様な学習の場を設定し、子どもたちが主体的に学ぶ環境を整えています。

【特色ある教育活動】

小中一貫校の特色を活かし、学校行事を中心に小学校と中学校の壁を越えて子どもたちが活動し、互いを思いやり、助け合う心を育みます。また、中学校の教員が小学校の授業を担当したり、小中学校の教員がともに授業を実施したりするなど、日常的に連携を取り、学びの連続性を意識した授業を展開します。

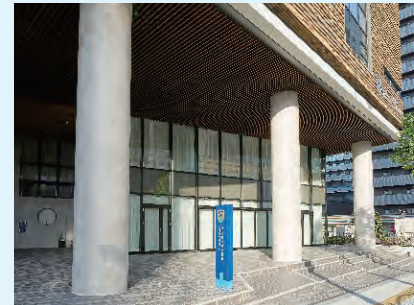
また、C-NET(大阪市外国語指導員)が常駐しています。生きた英語に触れる機会を大幅に増加させるとともに、小学校高学年の外国語授業において、専門性を有する中学校英語教員が担当することで、英語教育の充実を図っています。

学校施設の紹介～中之島小中一貫校の最新設備～

限られた敷地面積を最大限活用するため、校舎をコンパクトに建設し、屋外グラウンドの面積を極力広く確保するとともに、屋内には、体育館に加え、屋内グラウンド・屋上グラウンドなど多彩な運動スペースを確保しています。

正面玄関

大阪府立国際会議場や中之島を代表する大規模施設が立ち並ぶあみだ池筋に正面玄関を設け、まちの雰囲気と調和した門構えを持つデザインとしています。



多彩な運動スペース



屋外グラウンド

1周100mのトラックが描かれています。夏場の暑さ対策として人工芝の下に温度抑制のゴムチップが入っています。



屋上グラウンド

校舎7階にあります。小学生用の遊具や鉄棒、一輪車があります。

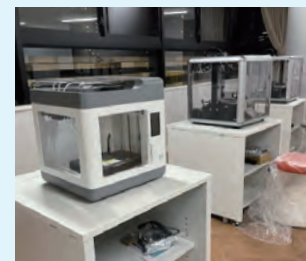
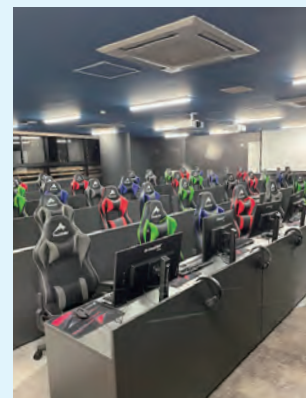


屋内グラウンド

雨天でも使用できるグラウンドで、床はゴムチップウレタン仕様です。

メディア・キューブ

パソコン教室には高性能パソコンや独自の通信回線、3Dプリンタ等を整備し、探究的な学習、プログラミング学習や動画制作など高いコンピュータ処理性能を必要とする学習において、児童生徒が主体的に取り組むことができます。図書室は2階と3階それぞれのフロアがらせん階段でつながっていて、明るく開放的なスペースになっています。



(上) パソコン教室①
(右上) パソコン教室②
(右) 3階図書室

ワークスペース

各階の共有部分にはワークスペースが設けられています。様々なグループワーク用テーブルなどを設置することで、学年の垣根を越えた活動が可能になっています。

